



すると、どうでしょう。ハトは、あたらしいオリーブのはっぱを口にくわえてもどってきましたよ。そして次の週、ノアはこの地がかわいていることが、わかったのです。なぜってね、こんどは、ハトがもどってこなかったんですもの。

19



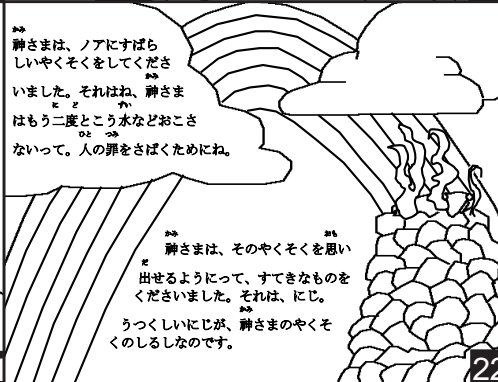
神さまは、ノアに言われました。「さあ、そろそろはこ舟からでてごらん。」ノアもノアのかぞくもいっしょになって、どうぶつたちをはこ舟からおろしてあげました。

20



ノアは、なんてうれしかったことでしょう。ノアは祭壇をつくり、「神さま、ありがとうございます。」って、礼拝しました。神さまが、ノアもかぞくも、おそろしいあらしから、すくってくださったのですから。

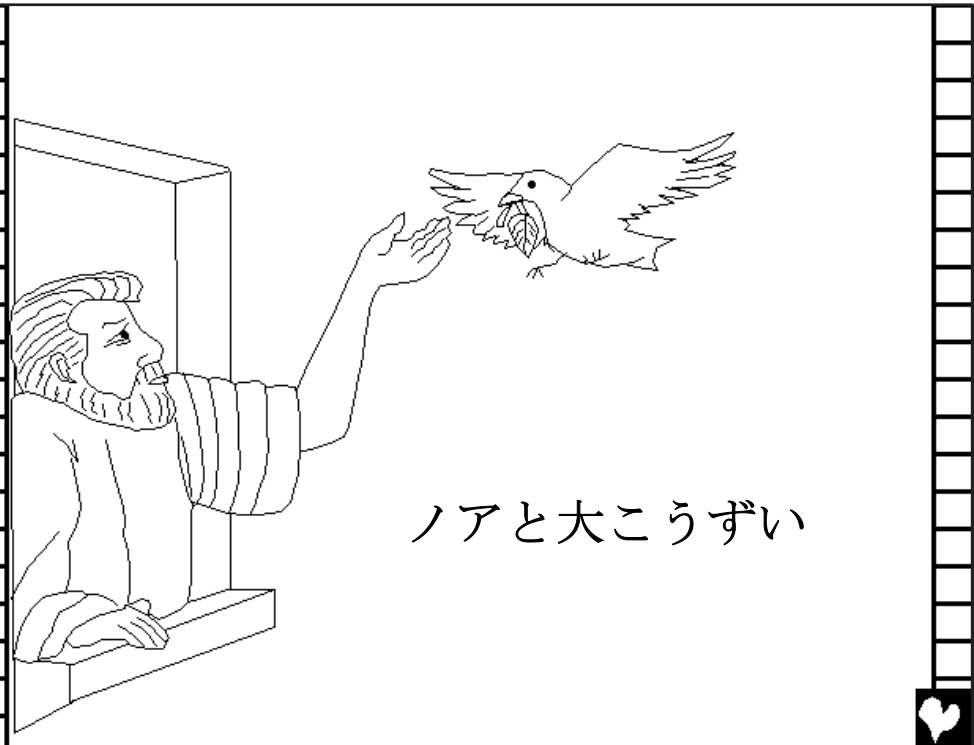
21



神さまは、ノアにすばらしいやくそくをしてくださいました。それはね、神さまはもう二度とこう水などおこさないって。人の罪をさばくためにね。

神さまは、そのやくそくを思い出させるようにって、すてきなものをくださいました。それは、にじ。うつくしいにじが、神さまのやくそくのしるしなのです。

22



ノアと大こうずい



23

大こうずいのあと、ノアやノアのかぞくたちは、すべてのことを、はじめからあたらしくやりはじめました。そのうちに、この地ぜんぶノアたちのしそんでいっぱいになりました。世界中のいろんな國の人々はみんな、ノアとその

子ども 子供から生まれてきたのですよ。

ノアと大こうずい

神さまの御ことは、聖書に記されているおはなしです。

創世記 6 章 - 10 章

あなたの御ことが開かれると、光が与えられます。
詩篇 119:130

日本語

Japanese

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくいには、死です。

神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスをこの世におくってくださいました。そして、イエスさまが十字架で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくださったのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなくなり、よみがえって、今また生きていらっしやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにいることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3:16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！

文 Edward Hughes
絵 Byron Unger; Lazarus

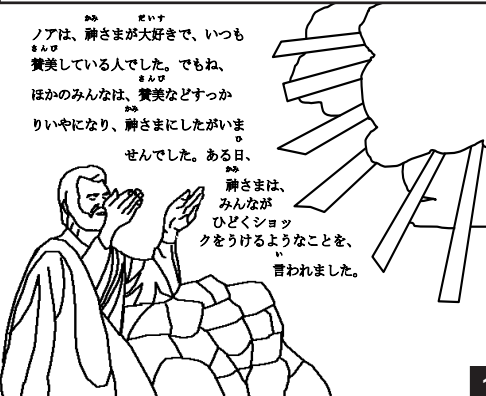
翻訳者 Yuko Kajiki 監修者 Dan Ellrick
出版社 Bob Davies; Tammy S.

60話の第3話

M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg MB R3C 2G1 Canada

許可： 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



1

2



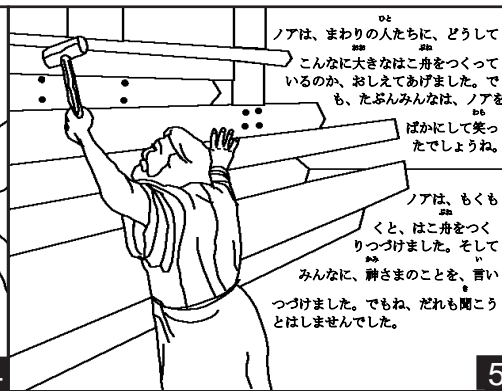
神さまは、ノアにやがて大こうずいがかつてくること、そしてその大こうずいは、すっぱりとこの地すべてをおおってしまうことを、しらせました。

3



「ノア、大きなはこ舟をつくりなさい。あなたのかぞくとたくさん動物たちみんなが入れるようなはこ舟をね。」
神さまは、ノアにこう命じられ、どのようにはこ舟をつくるか、ひとつひとついねいに教えていただきました。さあ、ノアは、いそがしくなりましたよ。

4



ノアは、まわりの人たちに、どうしてこんなに大きなはこ舟をつくっているのか、おしえてあげました。でも、たぶらみんなは、ノアをばかにして笑ったのでしょね。
ノアは、もくもくと、はこ舟をつくりつけました。そしてみんなに、神さまのことを、言いつけました。でもね、だれも聞こうとはしませんでした。

5



ノアは、心のそこから神さまを信じていました。たとえ今まで、ここに一てきの雨もふったことがなかったとしても、やっぱりノアは神さまの言われたことを信じたでしょう。まもなくはこ舟は、いろいろなものを積みこむためのじゅんぴが、すっかりとできあがりしました。

6



さあ、動物たちがやってきました。神さまは、いくつかのしゅいの動物から、おすとめすと七くみ、またそのほかのしゅいからも二くみ、つれてこられました。

7



大きな鳥やかわいい小鳥さんも、もちやい動物さんからのつぼの動物まで、みんなそろってのはこ舟へやってきましたよ。

8



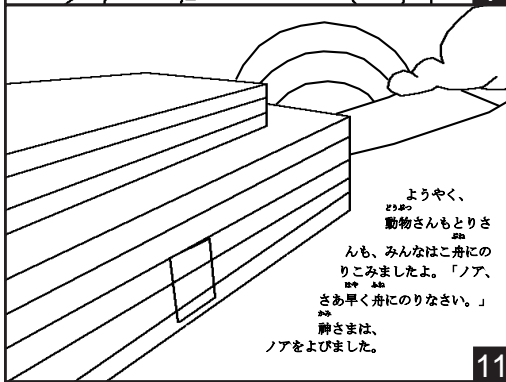
人々は、ノアが動物たちをはこ舟にせているのを見て、あざけり笑ったのでしょね。みんなは、神さまにしたがわないで、罪をおかしてばかりいました。

9



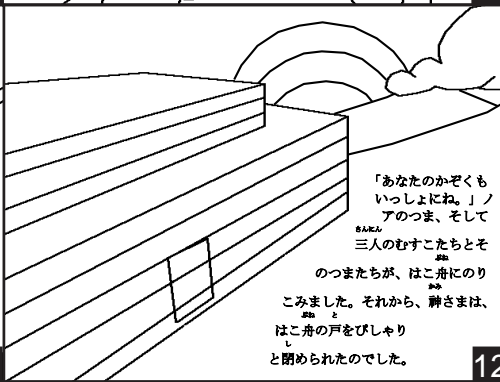
それにみんなは、ノアにはこ舟に入れてくださいって、たのみませんでした。

10



ようやく、動物さんもとりさんも、みんなはこ舟にのりこみましたよ。「ノア、さあ早く舟にのりなさい。」
神さまは、ノアをよびました。

11



「あなたのかぞくもいっしょにね。」ノアをつま、そして三人のむすこたちとそのつまたちが、はこ舟にのりこみました。それから、神さまは、はこ舟の戸をびしゃりと閉められたのでした。

12



いよいよ、雨がふりはじめましたよ。どしやぶりの雨です。四十日のあいだ、まいにちまいにち、星も夜もふりつづけたのです。なにもかも水びたし・・・。

13



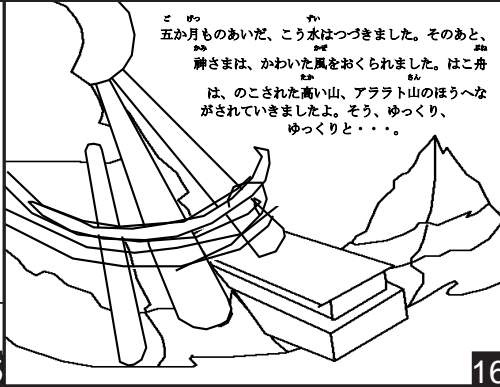
大こうずいは、町にも村にもあふれました。雨がやんだとき・・・あれっ、高くそびえていた山も、水の下にかくれてしまいましたよ。生きていたものは、みんななくなっていました。

14



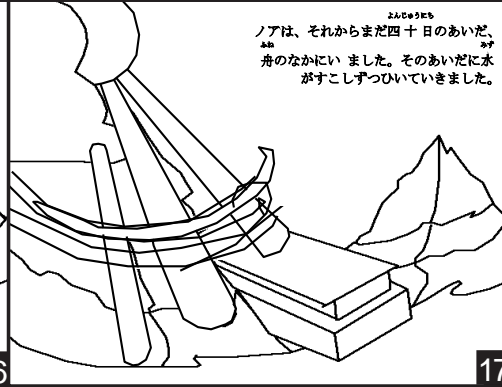
水がどどんあふれてくると、はこ舟は、水の上にはっきりと浮かびました。はこ舟の中は、くらかったでしょうね。がたがたゆれたのでしょね。そしてみんなこわかったかもしれませぬ。でも、はこ舟は、ノアを大こうずいからまもってくれたんですよ。

15



五か月のあいだ、こう水はつづきました。そのあと、神さまは、かわいた風をおくられました。はこ舟は、のこされた高い山、アララト山のほうへながされていきましたよ。そう、ゆっくり、ゆっくりと・・・。

16



ノアは、それからまだ四十日のあいだ、舟のなかにもいました。そのあいだに水がすこしずつひいていきました。

17



ノアは、舟のまどをあげ、カラストをはなしてやりました。でもね、とまることができるようなかわいたきれいなところが見つからなかったので、ハトは、ノアのところにどつてきました。「一週間して、ノアはもういちどハトをはなしてやりました。

18